
記者資料提供（平成20年12月11日）
阪神淡路大震災1.17のつどい実行委員会
TEL：078-321-3921（事務局）
協働と参画のプラットフォーム（市民参画推進局参画推進部地域力強化推進課）
TEL：078-322-6491 内線2273 江坂・福田
E-mail：community@office.city.kobe.jp URL：http://www.kobe24.jp

「阪神淡路大震災1.17のつどい」の開催について

趣 旨

阪神・淡路大震災から14年目を迎えるにあたり、亡くなられた方々の慰霊と鎮魂、そして震災から生まれた「きずな・支え合うところ」を次世代に語り継いでいくため、市民と市の連携により、11回目となる「阪神淡路大震災1.17のつどい」を開催します。

日 時

平成21年1月17日（土） 5時～21時

場 所

東遊園地（神戸市中央区加納町6丁目）

内容（実施団体）

竹灯籠「つどい1.17」（神戸・市民交流会）

別紙1のとおり

「1.17希望の灯り」分灯（慰霊と復興のモニュメント運営委員会、NPO法人阪神淡路大震災「1.17希望の灯り」）

別紙2のとおり

神戸市震災14年追悼の集い（神戸市行財政局行政部庶務課）

別紙3のとおり

1.17震災メモリアルサイクリング（神戸市民自転車同好会）

別紙4のとおり

その他の主な行事

別紙5のとおり

ボランティア募集

実施にあたり、前日の準備・当日の運営補助・翌日の撤収作業のボランティアを募集します。

16日（金）：15時～18時 作業内容：竹並べ

17日（土）：4時～7時 作業内容：ロウソク配布・準備など

15時～18時 作業内容：ロウソク配布・準備など

18日（日）：9時～終了まで 作業内容：竹の撤去・後片付け

各日とも当日、東遊園地にて受け付け（軍手・長靴・雨具等は各自持参のこと）

これまでの開催経緯

別紙6のとおり

参加・協力・連携団体一覧

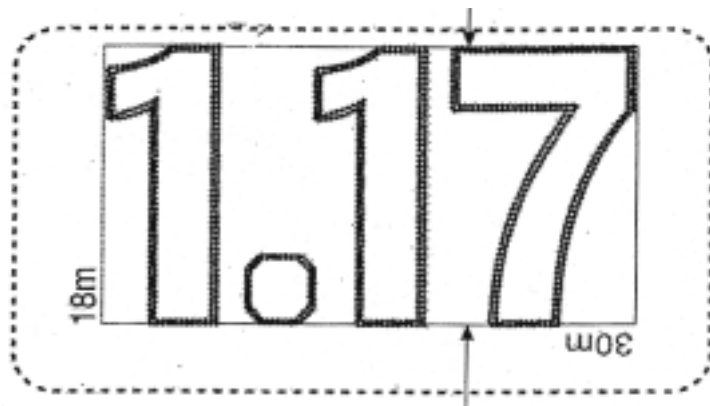
別紙7のとおり

竹 灯 籠

亡くなられた方々を追悼し、震災から生まれた支え合う「こころ」を次世代に伝え広げるため、東遊園地グラウンドで各地からいただいた竹灯籠を1.17の形に並べ、ロウソクに点灯します。

当日は午前5時の点灯から21時の終了時間まで随時点灯していただけます。多くの方々にお越しいただき、皆さんの手でロウソクに点灯していただくようご案内します。

ロウソクづくり	12月11日(木) 14日(日) 16日(火) 18日(木) 21日(日)
	場所：摩耶埠頭公園 時間：10時～15時
竹 灯 籠	1月16日(金) 15:00～ 竹並べ
	1月17日(土) 4:00～ 水張りチェック、ロウソク浮かべ
	5:00～ 参加者による点灯
	5:46 黙禱
	終了時間まで随時点灯していただけます。
	16:00 消灯して点検後点灯
	17:46 黙禱
	21:00 終了
	1月18日(日) 9:00～ 後片付け



竹・ロウソク協力団体・個人

兵庫県下各社会福祉協議会（豊岡市、三木市吉川町、加東市滝野町、宍粟市・千種町・一宮町、神河町、市川町、上郡町、新温泉町、太子町）佐用町まちづくり課、三木市ユネスコ協会、服部緑地「竹レンジャー」、島本竹工房、環境グループわかば会、災害支援ボランティアネットワーク「なまず」、ユニットピアささやま、信如宛、長岡京市・松下電器半導体労働組合・松下電器松愛会、山形県社会福祉協議会、福岡市妙安寺、カトリック宝塚教会、神戸バプテスト教会、日本キリスト教団天満教会、立正佼成会大阪教会・神戸教会・豊中教会・姫路教会・福知山教会、(株)三愛メモリアル、(株)神戸ポートピアホテル、生涯学習施設里仁館、(株)平安、大阪キリスト教短期大学、京都ノートルダム女子大学、山形県・高堂町内会・たつこの保育園、山形県立南陽高等学校、山形東高等学校、相生市・山岡伸一、丹後市・吉岡功光、宇治市・馬竹操男、高槻市・嶋田賢晃、名古屋市・棚田康明、山形県・安藤竜二、八木文明、枚方市・今堀浄、三木市・大西祥博、神戸市・田中恵子、

【お問合せ】神戸・市民交流会 中島正義

TEL 090-3030-2145

「阪神淡路大震災1.17のつどい」

「1.17 希望の灯り」分灯のご案内

1.17 あの阪神・淡路大震災は、一瞬にして六千余人の尊い命を奪いました。

私たちは多くのものを失いましたが、忘れていた大切な『こころ』を思い出しました。

国籍や宗教、所属や肩書きなどの違いを乗り越え、家族や隣人、地域でお互いに支えあった一つの証として、私たちのまちの公園や街角、学校などに「モニュメント」「慰霊碑」「追悼碑」が個人や自治会、学校、企業、行政などによって建立されています。

これらは、亡くなられた方々への慰霊とともに、あの震災体験を語り継いでいこうという意思の表明でもあります。

私たちは、これらの「震災モニュメント」に込められた思いをむすびつなぎ、生きていてよかった、生まれてよかったと思える街をみんなでつくっていかうとの思いから、「モニュメント」「慰霊碑」「追悼碑」を印した「震災モニュメントマップ」を作成し、そこを訪れる「震災モニュメント交流ウォーク」を開催してきました。



震災5周年にあたる2000年の1月17日神戸市役所南隣の東遊園地にモニュメント「1.17希望の灯り」を建立し被災10市10町の方々、県外に避難されたの方々、そして震災時駆けつけてくださった全国のボランティアにも呼びかけ「火」を集め、それを一つにして「1.17希望の灯り」にともしました。

2001年1月17日からは、この「希望の灯り」が市民ランナーの手によって全国47都道府県69都市に届けられました。

あの日あの時から 14年、あの震災の時の支え合う心を忘れないためにも、みなさんの地域で「1.17希望の灯り」をともしませんか。

記

期 日：1月10日(土)、12日(祝月)、14日(水)、16日(金)、17日(土)

時 間：午前の部... 10時 午後の部... 14時

分灯場所：東遊園地「1.17希望の灯り」モニュメント

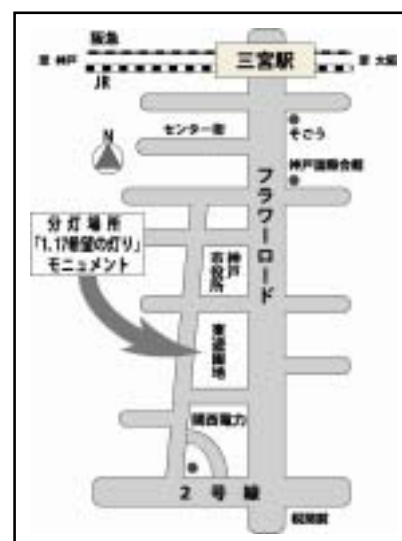
裏面の申し込み票にご記入の上、FAXまたは郵送にて下記事務局まで、お申し込み下さい。

上記の時間以外をご希望の場合は、別途ご相談させていただきます。
貸し出し用のランタンもご用意しております。

【お申し込み・お問い合わせ先】

「慰霊と復興のモニュメント」運営委員会
NPO法人阪神淡路大震災「1.17希望の灯り」

担当：白木・大下(NPO法人 阪神淡路大震災「1.17希望の灯り」)
〒652-0865 神戸市兵庫区小松通3丁目2-1 2階
TEL：(078)682-1117 FAX：(078)682-1227



送信先 FAX番号：078-682-1227

事務局使用欄

受付日： 月 日 受付番号：

「1.17希望の灯り」分灯申し込み票

ホームページなどで行事のお知らせ致しますので、チラシ・企画書等がございましたら、申し込み票に添えてお送り下さい。

行事名	(行事名がございましたらご記入下さい)	
灯される場所		
灯される日時	1月 日 時 分 ~ 日 時 分	
主催される団体名		
ご連絡先	ご担当者氏名	
	ご住所	〒 -
	TEL	
	FAX	
	携帯電話	
	e-mail	@

分灯日程

ご希望の日時をご記入下さい

期 日：1月10日(土)、12日(祝月)、14日(水)、16日(金)、17日(土)

時 間：午前の部...10時 午後の部...14時

分灯場所：東遊園地内 「1.17希望の灯り」モニュメント

分灯時間に直接モニュメントにお越し下さい。

上記の時間以外をご希望の場合は、別途ご相談させていただきます。

希望時間

日

時

ランタン

印をつけて下さい(分灯用ランタンは当方でご用意しております)

希望する

希望しない

【お申し込み・お問い合わせ先】

「慰霊と復興のモニュメント」運営委員会/NPO法人 阪神淡路大震災「1.17希望の灯り」

担当/白木・大下(NPO法人 阪神淡路大震災「1.17希望の灯り」)

〒652-0856 神戸市兵庫区小松通3丁目2-1 真川ビル2F

TEL 078-682-1117 FAX 078-682-1227

記者発表資料（平成20年12月11日）
行財政局行政監察部庶務課 山下、松岡
TEL：078-322-5062 内線2411
E-mail: gyouzaisei_syomu@office.city.kobe.jp

「神戸市震災14年追悼の集い」の実施について

趣旨

平成21年1月17日に、ご遺族、市民のみなさんと市の連携により開催されます「阪神淡路大震災1.17のつどい」におきまして、神戸市では、震災で亡くなられた方々を追悼し、また、震災から生まれた「きずな・支え合う心」を次世代へと語り継いでいくため、「神戸市震災14年追悼の集い」を開催いたします。

「慰霊と復興のモニュメント」周辺に記帳所・献花所を設置し、早朝には献花式を行います。

日時

平成21年1月17日（土）5時～21時

場所

慰霊と復興のモニュメント周辺（東遊園地内）

内容

ご遺族、市長による追悼の言葉と献花（5時46分頃～）

記帳所と献花所の設置（献花用の花は会場で配布します。）（5時～21時）

なお、記帳所は、各区役所、支所、出張所、連絡所にも設置します。（9時～17時）

なお、その他詳細につきましては、決まり次第、後日改めて発表いたします。

「阪神淡路大震災 1.17 のつどい」 「1.17 震災メモリアルサイクリング」

阪神・淡路大震災から14年を翌日に迎える1月16日に、被災地にある「震災モニュメント」を、自転車で駆け巡り、鎮魂の祈りを捧げるメモリアルサイクリングを「阪神淡路大震災 1.17 のつどい」の一環として実施いたします。

参加された方々が、お互いに心を通わせ、ともに自転車で震災モニュメントをめぐり、鎮魂の祈りを捧げることにより、「命の大切さ」「お互いに助け合うところ」を語り継いでいくことを目的に実施いたします。

お買い物用の自転車でもご参加いただけますので、ぜひご参加ください。

神戸市民自転車同好会

1.17 震災メモリアルサイクリング

日 時 平成21年1月16日(金)
集合時間：午前8時30分 出発：午前9時00分
ゴール予定：午後0時30分頃(解散場所は東遊園地)
集合場所 東遊園地(神戸市役所南隣)「慰霊と復興のモニュメント」前
コース 東遊園地
神戸大学
西灘小学校
西灘公園
求女塚東公園
常念寺
ゴール(東遊園地)

自転車(お買い物用でも可)は各自で準備をお願いします。

申込方法 事前に「神戸市民自転車同好会」祇園までお電話でお申込ください。

【お問い合わせ、お申し込み先】

神戸市民自転車同好会 祇園明敏

電話 078-981-3001

その他の主な行事

コーヒー提供

(スターバックスコーヒー・ジャパン関西地区有志)

寒い中、会場へ来られたみなさんへ、おもてなしの心を込めて、関西地区の社員が少しずつ集めた豆で淹れた温かいコーヒーをお配りします。(提供予定：3,000杯)

日時：1月17日(土) 6時~8時 2,000杯、16時~18時 1,000杯

担当：恩田 和英(神戸国際会館 SOL 店) 078-230-3339

「1.17」窓明かり文字

(神戸関電ビル1.17ライトアップ有志)

東遊園地南隣の神戸関電ビルの窓明かりによる「1.17」の文字をビル壁面に作ります。

点灯時間：1月17日(木) 5時46分、17時46分の黙禱に合わせて点灯。

担当：鎌田 善万(総務・広報グループ) 078-220-0085

鎮魂の灯籠

(高橋 洋司さん)

震災以降、被災地神戸を応援していただいている方の手作りの灯籠を点灯します。

灯籠の数：100灯(予定)

担当：高橋 洋司 090-1096-3302

神戸震災復興記念公園の紹介

(みなとのもり公園検討会)

神戸震災復興記念公園を紹介するパネル展示を行うとともに、同公園の植樹に使うドングリを配布します。

担当：辻 信一 078-392-1701

炊き出し

(コープ山手ラベンダー)

豚汁 6時~(提供予定：1000食)

(給食ボランティア会)

ぜんざい 18時~(提供予定：800食)

(紀州梅の郷救助隊)

お粥 6時~(提供予定：500食) 18時~(提供予定：500食)

担当：高砂 春美 0798-71-5966

チャイ(紅茶)・カレーの提供

(ヒューマニティ ファスト)

震災直後、長田区で救援活動を行った「アハマディア・ムスリム・ボランティア」を中心としたグループが、チャイ(紅茶)を提供します。(提供予定：チャイ600杯、カレー400食12時頃~)

担当：アニス 052-703-1868

「阪神淡路大震災 1.17 のつどい」現在に至る経緯

平成 20 年 12 月 11 日

《竹灯籠はじまる》

平成 10(1998)年 1 月 17 日、被災された方々を中心に結成されたボランティアグループ「神戸・市民交流会」が中心になって、震災時避難所であった中央区の旧吾妻小学校(現：コムスタこうべ)で、震災 3 周年を機に、追悼やこれからの復興に祈りを込めて、「つどい 1.17」を開催しました。

この行事では、市内外の社会福祉協議会やボランティア団体から寄せられた 6,432 本の竹筒に水を入れ、ろうそくを浮かべて、「1.17」の形に並べ、早朝 5 時 46 分に全員で黙とうをささげました。また、明石天文台の復活イベントとの連携もはかられました。

翌平成 11(1999)年 1 月 17 日からは、神戸市役所南隣りにある東遊園地に場所を移し、早朝 5 時 46 分に「1.17」の形に竹灯籠の灯りをともし、夕方 5 時 46 分に再び灯りをともす形式になりました。このときの灯りは、その後、再度山の大龍寺でお灯明として灯され続け、翌年のつどいまで 1 年間保存されることになりました。

また、市内各所でも、「1.17KOBE に ” 灯り ” を in ながた」など、灯りをともす行事が開催されました。

《「慰霊と復興のモニュメント」と「希望の灯り」》

平成 12(2000)年 1 月には、東遊園地の一角に「慰霊と復興のモニュメント」が完成し、1 月 16 日に除幕式が行われましたが、この建設に至る経緯は、平成 8 年度にさかのぼります。

震災を後世に伝えるものが必要との声を受け、平成 8 年 9 月に「慰霊と復興のモニュメント設置懇話会」を開催し、基本コンセプト等について検討を重ねました。その結果、犠牲者の慰霊と市民への励まし、震災からの復興、大規模災害に対する世界的規模での連帯による意義という 3 つの基本コンセプトと、設置場所は市の中心部であり市民に親しまれている東遊園地がふさわしいこと、建設資金については広く募金を呼びかけその浄財を活用するという意見をいただきました。

この懇話会意見に基づき、平成 9 年度に「慰霊と復興のモニュメント設置検討委員会」を開催し、指名コンペによる作家選定を行った結果、京都在住の現代芸術家の楠田信吾氏に決定しました。

翌平成 10 年 10 月に、モニュメント建設の趣旨普及と広報、建設資金の募金活動を目的として「慰霊と復興のモニュメント設置実行委員会」を発足させ、平成 11 年 9 月まで広報及び募金活動を展開した結果、159,130,809 円の募金が寄せられ、広報等の委員会運営費を引いた 151,630,809 円が神戸市に寄付されました。

また、楠田氏の当初の計画には含まれていませんでしたが、「1.17 のつどい」の実施団体より、つどいにおける「火」をいつまでも保存したいとの要望があり、意匠や設置場所の検討を楠田氏に依頼し、モニュメント建設にあわせて制作することとなりました。これが「1.17 希望の灯り」です。

そこに灯されている灯りは、平成 12 年 1 月 17 日の「つどい 1.17」の竹灯籠の灯り(これは昨年のつどいの灯りを 1 年間保存していただいた大龍寺のお灯明の灯りです。)に加え、被災 10

市 10 町を巡って運んだ種火と 47 都道府県から寄せられた種火を一つにして、つどいの当日に点灯式が行われました。

こうして「1.17 希望の灯り」は設置後、被災した市民にとっての精神的な拠り所になり、被災地以外からも数多くの方々が訪れる場となっています。また、毎月 17 日には、自主的に清掃などが行われるようになり、被災 10 市 10 町だけでなく、遠方の都市へも、震災や灯りがむすぶ絆に関連した行事などによって、分灯され続けています。

《平成 13(2001)年 1 月 17 日》

東遊園地では、「市民のつどい1.17」「1.17 希望の灯り分灯事業」「神戸市震災 6 周年追悼の集い」が、一部連携しながら同時に開催されることとなりました。「1.17 希望の灯り」は、被災地 10 市 10 町にも分灯され地域で燈されるようになりました。また、「灯り」は市民ランナー 50 名により、全国 69 都市に感謝の気持ちをこめてリレーされ、下関市には、「灯り」の永年保存施設が設置されました。

《平成 14(2002)年 1 月 17 日》

東遊園地全体を「阪神淡路大震災 1.17 のつどい」とし、ご遺族・ボランティアを中核に、行政がそれをサポートする形態で実施されました。

《平成 15(2003)年 1 月 17 日》

被災地はもとより全国各地で「1.17 希望の灯り」が燈されるようになり、神戸だけの行事ではなくなったので、竹灯籠による「1.17K0BE」の文字は「1.17」だけになりました。

《平成 16(2004)年 1 月 17 日》

平成 15 年 12 月 17 日と平成 16 年 1 月 17 日には「慰霊と復興のモニュメント」に神戸市外で亡くなられた方々や震災が遠因となって亡くなられた方々 98 名の銘板を新たに掲示しました。竹灯籠も震災で亡くなられた方々の人数を超える約 7,000 本で「1.17」の形をつくりました。

《平成 17(2005)年 1 月 17 日》

震災で失われた多くの命への追悼と、震災から培われてきた人の「やさしさ・支え合う心」を世代や場所を超え多くの方々に伝え広げるため、そして全国各地からご支援をいただいた神戸から「やさしさ・支え合う心」を発信するため、各地の災害で被災された方々への「支援のための募金活動・励ましのメッセージ集め」も会場で行ないました。

《平成 18(2006)年 1 月 17 日》

震災から 11 年目となる「1.17 のつどい」の開催について、私たちは開催の有無から検討し、これからも震災で亡くなられた方々への慰霊と鎮魂、そして私たちが震災で気づいた「いのち」「お互いに助け合う心」の大切さを世代をこえて多くの方へ語り継いでいくために継続していくことを決定し、1 月 17 日に「阪神淡路大震災 1.17 のつどい」を開催しました。

《平成 19(2007)年 1 月 17 日》

震災を経験した私たちは、2007 年 1 月 17 日、震災で亡くなられた方々への慰霊と鎮魂、そして生き残った私たちが気づいた「いのちの大切さ」「お互いに助け合う心の大切さ」を世代をこえて多くの方へ語り継いでいくために「阪神淡路大震災 1.17 のつどい」を開催しました。

《平成 20(2008)年 1 月 17 日》

阪神・淡路大震災で亡くなられた方々の慰霊と追悼、並びに大切な「いのち」を守るため、震災から生まれた「きずな・支え合う心」と「経験と教訓」を、より多くの人々に語り継ぐ「阪神淡路大震災 1.17 のつどい」を開催しました。

阪神淡路大震災 1.17 のつどい

平成 20 年 12 月 11 日現在

参加・協力・連携団体一覧

- ・竹灯籠「つどい 1.17」
神戸・市民交流会
枚方市職員ボランティアの会
竹・ろうソクの提供：県内の各社会福祉協議会など
- ・「1.17 希望の灯り」分灯
慰霊と復興のモニュメント運営委員会
NPO 法人 阪神淡路大震災「1.17 希望の灯り」
- ・震災メモリアルサイクリング
神戸市民自転車同好会
- ・コーヒーの提供
スターバックスコーヒー・ジャパン関西地区有志
- ・紅茶の提供
ヒューマニティ ファースト（国際ボランティア団体）
- ・炊き出し
コープ山手ラベンダー
給食ボランティア会
紀州梅の郷救助隊
- ・「1.17」窓明かり文字
神戸関電ビル 1.17 ライトアップ有志
- ・テントの設営、片付け等
神港学園神港高等学校硬式野球部
ユニバーサルボランティア神戸
中央区ボランティアセンター
- ・鎮魂の灯籠（100 灯）
高橋洋司
- ・交流テント
NPO 法人阪神淡路大震災「1.17 希望の灯り」
- ・みなとのもり公園の紹介
みなとのもり公園（神戸震災復興記念公園）検討会
- ・会場運営協力・設営
サンフラワーフレンズ 21
K O B E 観光ガイドボランティア
中央区老人クラブ連合会
- ・協力団体
たて川
- ・「神戸市震災 13 年追悼の集い」
神戸市行財政局行政部庶務課
- ・「阪神淡路大震災 1.17 のつどいパネル展」
神戸市社会福祉協議会ボランティア情報センター
- ・会場警備等
神戸救急グループ
B L S K O B E
T E C 案 2